



# 空母艦載機57機の岩国移転

## ガマンも限界! ジェット戦闘機百機

十月末に日米政府が合意した「中間報告」では、岩国基地に神奈川県厚木基地の空母艦載機57機を移転させるとしています。

岩国基地にはすでに米軍機57機が駐留しています。実施されれば岩国基地の米軍機の数は百十四機にふくれあがり、そのうちジェット戦闘機は百機になります。

## 問題は、日常的な猛訓練の騒音

「中間報告」はジェット戦闘機の、NLP（夜間離着陸訓練）は岩国ではやらないとしています。厚木では空母艦載機の訓練は、昼夜を問わず行われています。とくにNLP直前には数週間にわたり、集中訓練が行われます。何よりもジェット戦闘機百機が岩国基地周辺を飛び交えば、周辺住民の平穏な生活が破壊されることは明らかです。

## 騒音もスーパースーパーホーネット戦闘機

厚木基地には最新鋭のスーパーホーネット戦闘機が26機配備されています。スーパーホーネットは岩国基地に36機いるホーネットと比べてエンジン出力が35%も増大しています。その結果、本国アメリカでも爆音被害が深刻で、配備反対の運動が起きました。

厚木基地周辺ではスーパーホーネットが着陸した時、111デシベルの騒音を記録しました。これは、電車が通るときガード下の騒音(100デシベル)を大きく上回っています。

## 根知事民…みんな反対

### ◆井原勝介・岩国市長

「白紙撤回を目指し、最大限努力していく」「中間報告前に十分説明し、協議すると何度も約束していたが、機会をとってもらえず遺憾だ」と批判…「中間報告」発表の直前に広島防衛施設局の説明を聞いて(10月28日付朝日新聞)

### ◆二井関成・山口県知事

「長官の説明では、騒音のたらい回し、岩国でのNLP実施の誘因という懸念を強く持った」「現状では受け入れられない」…「中間報告」後、北原防衛施設庁長官の説明を受けて(11月5日付毎日新聞)

### ◆自治会・市民団体

11月22日川下自治会連合会は、広島防衛施設局に対して「中間報告、断固反対」を申し入れ。11月20日に「岩国への空母艦載機部隊とNLP移転反対の市民の会」が結成される。12月18日に反対集会が開催される。

基地に関する苦情件数

	岩国市	大和市
H12年度	268	2,597
H13年度	102	2,156
H14年度	249	1,790
H15年度	195	1,748
H16年度	183	1,334
計	997	9,625

## 厚木の苦情件数は岩国の約10倍 ほとんどが昼間の訓練の騒音の苦情

厚木基地のある神奈川県大和市では、左の表のように過去5年間の市によせられた基地に関する苦情件数はおおよそ岩国市の十倍。それも昼間の騒音への苦情がほとんどです。



日本共産党

2006年1月 号外  
日本共産党東部地区委員会  
岩国市山手町4-3-5  
TEL 0827 (22) 2245

# 『空母艦載機の岩国移転反対』で

立場をこえて自治体も住民も

力をあわせるときです

政府は、「住民の負担軽減のため滑走路移設事業を実施中であり、これが完了すれば騒音上及び安全上の問題は大幅に改善される」「生活環境が現状よりも著しく悪化することはない」（県、市などの質問への回答）と、移転理由を勝手に判断しています。こんな言い分が許されていいものでしょうか。空母艦載機部隊が岩国に移転してくれば、住民の平和と安全はいっそう脅かされ、騒音被害は大きくなり、事故の危険性は高まります。

日本共産党は立場をこえて、「厚木基地機能の岩国移転反対」の一点でみなさんと力をあわせませます。大きな声と運動をこいっしょに広げましょう。今回の基地強化の動きは、沖縄、神奈川県をはじめ日本列島全域におよんでいます。各地で自治体、住民ぐるみの運動が広がっています。日本共産党は全国の運動とも手をつなぎ、厚木基地の移転を白紙撤回させるためがんばります。



全国の自治体や住民と連携した運動をすすめていきましょう

## 全国どこでも反対の声

「中間報告」に全国の自治体が猛反発しています。12月6日、国会で防衛施設庁の施設部長が米軍基地再編計画について関係する12都道県43市町村に説明したが、「それぞれ大変厳しい意見をいただいた」と答弁。賛意を示したといえるのは東京都の石原都知事だけだったことを明らかにしています。

### 神奈川県

キャンプ座間に米軍の新司令部を設置し、軍人を約300人増員することが提示された神奈川県では、地元の座間市、相模原市がそろって大反対。座間市長は「ミサイルが飛んできてでも反対する」と集会で決意表明しました。

### 沖縄県

沖縄では普天間基地返還の代替基地として新基地建設がすすめられてきましたが、長年の住民の運動で挫折。日米両政府はその代わりに新たな基地計画に合意しました。しかしこの計画は県民との矛盾を広げ、島ぐるみの反対運動が発展しつつあります。

### 広島県

広島県では広島市、大竹市、江田島市、旧廿日市市、旧大野町、旧宮島町の議会で、それぞれ「厚木の岩国移転反対」が決議されています。12月3日には合併後の新廿日市市で、思想・信条の違いを越え、「岩国基地の強化に反対する広島県西部住民の会」が結成されました。

**「中間報告」とは？** 2005年10月29日、在日米軍再編や自衛隊と米軍の役割分担について、日米で合意された報告。「最終報告」は今年3月が予定されていますが、外務省、防衛庁は「米軍は望まれ、歓迎され、必要とされる場所に配置」と説明しています。全国の自治体、住民が力をあわせ反対の声を広げ、「中間報告」を撤回させましょう。

